



2020. 9. 29 五色台少年自然センターで撮影

ツリガネニンジン

(キキョウ科ツリガネニンジン属)

8月～10月に^{あわ}淡い紫色の小さな花を咲かせ、夏から秋の山野を代表する草花のひとつです。日本全国で普通に見られ、^{つりがね}釣鐘のようにふくらんだ花と、^{ちょうせん}朝鮮人参のように太い根が名前の由来となっています。

花の形をよく見ると、1枚の花びらが^{つつ}筒状になっており、その先が5つに分かれています。ちなみに、花の中から垂れ下がっている部分はめしべです。風でゆれると、まるで^{ふうりん}風鈴のようにチリンと音色が聞こえてきそうですね。